

# ギカイ お便り

## TOPICS

北広島市特定の場所における  
路上喫煙の制限に関する条例  
が制定されました

# 議員が聞いた こんなこと

# 代 表 質 問

## 代表質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。  
第1回定例会では、会派を代表する6名の議員から質問がありました。

代表質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。



**JR新駅構想の協議状況と今後の見通しは**  
整備費用の経費縮減、工期短縮に向け協議する



中川議員

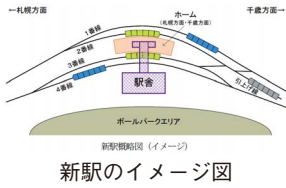


**Q** ボールパークに隣接するJR新駅構想の協議状況と今後の見通しは。

**A** 本年2月6日にJR北海道から新駅計画概算工事費、115億から125億円規模との報告があった。これまでも最小経費、最短期間で進めることで協議してきた。

この概算工事費では、現時点で合意は難しいと考えている。

抜本的な配線計画の見直しを含め整備費用の縮減、工期短縮に向けた再調査をJR北海道と協議している。



新駅イメージ図

**地域経済の活性化に向けて**

**Q** ボールパーク開業後における地域経済活性化に向けた市内商工業者との連携は。

**A** Fビレッジの開業を契機として、市内商工業者、北広島商工会、地域商店街振興会などとの連携を強化していきたい。

**観光振興について**

**Q** ボールパーク開業により新たな観光振興は。

**A** 令和5年度からスタートする「第2期北広島市観光基本計画」において「市民が主役の観光の確立」、「多様な主体と新たな価値をつくる」、「時代の変化に対応した基盤をつくる」、を基本方針に掲げ、子どもへの環境教育の実施、ボランティアなど観光人材の育成、Fビレッジを基点とした周遊

観光の展開などの施策を示している。引き続き観光協会と連携し、取り組みを進める。

**持続可能な公共交通は**

**Q** 持続可能な公共交通の検討状況と今後の展開は。

**A** 令和5年からスタートする交通計画を作成するため市民意識調査の意見やバス利用状況、地域公共交通活性化協議会や市議会での議論を踏まえ計画の策定を進めてきた。利用実態に合ったバス路線とするため、本年4月1日から、さんぼまち・東部線の路線再編を行う。



バス路線再編の案内

**コミュニティスクールは**

**Q** コミュニティスクールの全

中学校区へ拡大する内容とその効果は。

**A** 未導入となっている東部、西の里、広葉の3中学校区に準備検討委員会を設置し、令和5年度、市内全中学校区において実施する準備を進めている。

**学校適正規模・適正配置**

**Q** 学校適正規模・適正配置の検討状況と今後の見通しは。

**A** 「北広島市立小中学校の適正規模に関する基本方針」で定めた適正規模を下回る学校が今後増加する見込みであることを踏まえ、令和4年度から本格的に着手した。

市立学校の配置については、東部地区、西部地区、大曲地区、西の里地区、北広島団地地区で中学校区を設定し、五つの地区内で検討を行う。なお、審議会に対し、西部地区の小中学校の在り方について追加して諮問した。

**現在の図書館も含む芸術文化施設の課題は  
老朽化対応や効率的な管理運営体制の在り方**



桜井議員



**Q** 芸術文化ホールが開館して

から四半世紀、この間、市民とのパートナーシップにより、芸術文化ホールの施設運営を行い、主催事業は、市民を中心に組織された運営委員会によって行われてきた。今後も劇場、音楽堂などとして、施設が持つ機能を十分に発揮でき、利用者のニーズに合った利便性の高い施設運営を目指すことが必要だと思つが、現在の図書館も含む芸術文化施設の課題をどのように認識しているのか。

**A** 今後については、大規模改修や音響・照明などの施設機能の更新及び修繕につい



て、中長期的な視点に立つた老朽化対応や、これまでの市直営での維持管理や

ホール運営委員会と連携した事業運営体制など、より効率的、効果的な管理運営体制の在り方などについて検討していく必要があると認識している。

**学校部活動の  
地域移行について**

**Q** 「少子化による学校部活動

の継続困難」や「教員の働き方改革」などの問題解決につながるご期待されている、学校部活動の地域移行の全国的事例の中で、大学の持つスポーツ資源を活用して中学校の部活の地域移行を実現しようとするものがあったが、検討しては。

**A** 先進地視察から得た情報も参考としながら、休日における部活動の段階的な地域

移行について、学校やスポーツ団体などの声も伺い、学校部活動の今後の在り方を検討する中で、大学の持つスポーツ資源の活用についても検討する。



**パートナーシップ  
宣誓制度について**

**Q** 衆議院予算委員会の集中審

議で岸田首相は、同性婚に関する訴訟や性的少数者のカップルを公的に認証する自治体のパートナーシップ

制度の導入状況などを注視する考えを示した。日常生活において深刻な困難を抱えている性的マイノリティーの方の生きづらさを少しでも少なくするため、さらには、国の法案化を後押しするためにも、本市に

おいても導入を検討すべきでは。

**A** 制度の導入には、性的マイノリティーに関する正しい理解と認識の下、当事者が制度を利用しやすい社会、そして企業などが多様性を尊重し、支援していくといった理解と制度の両立が重要であると考えている。今年度は、理解の促進に向けたセミナーの開催などの取り組みとともに、導入自治体の事例研究やLGBTなどの方を支援する団体との意見交換を行ってきた。国会などで法案化の議論が進められているLGBT理解増進法案の動向を注視し、引き続きあらゆる人が個性と能力を発揮できる社会の実現に向けて取り組む。

ほかに市政運営、主要施策（新型コロナウイルス接種、医療体制の確保、キャッシュレス決済、ふゆトピア・フェア2024、名護市との姉妹都市提携）について質問がありました。

新たな物価高騰対策を考えているか  
社会情勢の変化に応じ、対策を講じたい



木村議員



**Q** 物価高騰対策として、1月、2月に水道料金の減免を行ったが、市として新たな対策を考えているのか。

**A** 国や北海道の動向や市民生活などへの影響を注視しながら、社会情勢の変化に応じて必要な対策を講じていきたい。

**A** 本事業は妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、当該妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなぐことを目的として伴走型相談支援と一体的に実施するものである。助成拡大については国の動向を注視しながら調査、研究したい。

少子化対策について

**Q** 市の出生数が年々減少し昨年は240人だった。本市が取り組む少子化対策を伺う。

**A** 安心して子どもを産み育てたいと思えるまちづくりの実現に向けて、少子化対策に資する各種施策を切れ目なく推進していきたい。妊産婦の支援について、低所得の妊婦に対する初回産科受診料を助成するが、低所得者に限ることはないか。

定住促進について

**Q** 今後転入者を増やして定住につなげるための取り組みを伺う。

**A** 駅西口エリアや青葉浄水場跡地を活用した居住環境の整備、ボールパーク開業を契機とした企業進出や就業



青葉浄水場跡地

**Q** 機会の拡大、切れ目のない子育て支援や教育環境の充実など、定住につながるよう取り組みを進めていく。低所得世帯のために低家賃で入居できる公営住宅が必要であると考え。昨年第4回定例会で質問したが、輝美町道営住宅について、道と12月中に意見交換したと思うが内容を伺う。

**A** 施設の老朽化に伴う輝美町団地の今後を検討するための入居者に対するアンケート調査や、他市で実施した道営住宅の整備事例について情報を共有するなど意見交換をした。なお、入居者アンケート調査票については、すでに北海道において各戸に配付された。



北広島駅西口のバス停

地域公共交通について

**Q** さんぼまち・東部線の一部路線再編により効率的なバス路線を確保するなど、生活環境を支える持続可能な公共交通網の構築を推進することのだが、具体的な内容を伺う。

**A** 昼間の循環線については利用者が著しく少ない広葉交流センターや美沢シヨッピーングセンター部分の走行を廃止し、より利用者が多い部分に特化する。また夕方の循環線については利用者が著しく少ないJR北広島駅方面への循環を行わず、駅から団地方面に向かう帰宅者用に重点を置いた路線を増便する。

**Q** 高齢のバス利用者から、ステップが高く乗降に苦労するとの声があるが、低床バスの導入はできないか。

**A** 車両の更新の際に順次導入していきたい。ほかにも教育行政について質問がありました。

**物価高騰から暮らしと営業を守る市の対策は**

今後必要な対策を検討していく



山本議員



**Q** 電気料金値上げへの認識は。物価高騰から市民の暮らしと営業を守るための市の対策は。

**A** 家計や市内経済へ大きな影響を及ぼすと懸念している。今後、国や道の支援策や市民生活への影響を注視し、対策を検討していく。

**ボールパークについて**

**Q** 新駅の整備額、市の負担額などについて市長の認識は。

**A** J R北海道からの概算工事費は合意するのは難しい。いつまでに調査報告を出せる予定か。

**Q** 拙速に何かを決めるのではなく、しっかり内容などを確認した上で対応を進めていく。

**Q** ボールパーク周辺の環境保全の基本方向は。

**A** 野生生物の生育空間となり、生物多様性に寄与する骨格

的な緑であり、今後もまもり、つくり、育てることを基本とし、次の世代に残していく。

**Q** 一部市道の通行止めにより市民の通行証発行ができないのか。

**A** 警備員なども含めた対応をすることを調整しているのですが、通行証の発行は考えていないが、しっかり対応していきたい。

**ごみ処理の広域化について**

**Q** 収集日5日化は、ごみステーションの管理や除雪が高齢化などにより難しいとの市民からの意見に、どう対応するのか。

**A** それぞれの実態に適した管理方法について、事例を紹介するなど個別に対応する。ごみ手数料値上げは市民負担を増加させる。市民生活が大変な状況の中で、ごみ

**A** 手数料値上げは止めるべきでは。排出量に応じた費用負担とごみの減量化を推進するため実施する。分別やリサイクルを積極的にいけば負担が抑えられることを周知する。



**学校適正規模・適正配置について**

**Q** 小中学校の統廃合を行うべきではないと考えるが。

**A** 北広島市立学校適正配置等審議会で、東部、西部、大曲、西の里、団地の5地区でそれぞれ中学校区を設定し、学校の適正規模・適正配置を検討するとした。例えば団地地区は中学校を二つから一つに減らすということがあるか。

**A** その点も含めて検討していく。

**労働者の処遇改善について**

**Q** 労働者、特に非正規労働者の生活は非常に厳しい。会計年度任用職員の処遇改善は。

**A** 会計年度任用職員への勤勉手当支給は今年度中に結論を得る旨の閣議決定がなされたところである。

**議会採択の請願について**

**Q** 高齢者の補聴器購入助成制度の早急な実施について見解を。

**A** 耳の聞こえや補聴器購入に関する調査結果を踏まえ、支援について検討する。



補聴器

**レクの森整備の検討状況と見通しは**

管理運営協議会などで検討



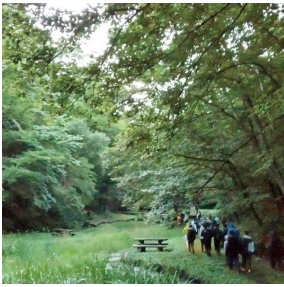
鶴谷議員



**Q** 北広島レクリエーションの森について、展望台は、伸び放題の木々に囲まれ、見渡すことができない状況である。アスレチックコースは、2021年度の大雪による損傷箇所が未修繕なまま利用休止となっている。冒険の森の池は、夏はハイケボタルなどの水性昆虫の観察スポットとして知られ、足が不自由な方から階段の改修などの整備を求める声が寄せられている。整備の見通しは。

**A**

林野庁及び市の関係部署で構成する管理運営協議会、及び社会教育委員からの意見をいただきながら検討を



レクの森ホタル観察会

**A**

感染拡大防止で中止した事

組みむべきと考えるが見解を伺う。

**子どもたちの健やかな成長を応援する取り組みについて**

**Q**

進めている。ボールパーク開業に伴い、観光などの新たな価値を含め注目されると考え、今後、民間事業者、関係機関、団体からの意見を伺いながら方向性を検討し、具体的なスケジュールなどの整理を行う。

緊急事態宣言後、外出自粛・臨時休校・休園となり、3年に渡るコロナ禍の子どもたちは不安を抱え続けてきた。経験するはずだったさまざまな体験の機会を創出し、子どもたちの今と未来を応援することが、私たち大人の役割と考える。子どもたちの健やかな成長を応援する施策を市主導で取り組むべきと考えるが見解を伺う。

**A**

本年1月末現在で、小学生

**Q**

2022年度の市の不登校の状況について伺う。

**不登校の状況について**

業は、国の感染症対策の基本方針や感染者の動向などを注視しながら実施の可否などを整理する。

**市民ソーシャルワーカー養成講座について**

**Q**

高齢者やひきこもりの方などについて学ぶ市民ソーシャルワーカー養成講座が、2月に開催された。受講者は今後どのような場面で習得したことを活かすのか、見解を伺う。

**A**

これまで開催してきた、くらしサポーター研修をさらに充実させるため、星槎道都大学との連携事業により実施した。日々の相談支援活動などや、市及び社会福祉協議会が実施している事業の場面で活躍していただきたい。

**学校に行けない、または行かない児童生徒への支援について**

**Q**

40名、中学生が73名の計13名。新型コロナウイルス感染回避を理由とする長期欠席者は、小学生、中学生ともに0名である。

**A**

学校以外の場において学習活動などを望む児童生徒について認識している。学費の助成などについては、他市町村や全国の動向を注視していく。



## 令和5年度政府予算案について

### 地方財政の健全化が図られ評価



佐藤議員



**Q** 令和5年度政府予算案について、市としてはどのような評価をしているか。

**A** 「地方の一般財源総額」について前年度を上回る約62兆2千億円を確保するとともに、臨時財政対策債の発行額を抑制するなど、地方財政の健全化が図られており評価している。

**Q** 防衛関係費については、過去最大となり昨年度より大幅に突出。このような事態について市長はどう捉えているか。

**A** 本年1月に北海道防衛局から防衛費の説明を受けたほか、報道などにより承知している。安全保障・防衛政策は国の専管事項であるが、市民の命と地域の安心・安全の確保に配慮し、不安が解消されるよう国の動向を注視していく。

**Q** 市の今後の財政運営と将来の見通しについては。

**A** 歳出面では、引き続き増加傾向にある社会保障関連経費や、公債費などの義務的経費、ごみ処理広域化に要する経費のほか、人件費・

労務単価の上昇傾向もあり、財政運営は大変厳しい状況だが、ボールパーク構想や地方創生の推進に伴う財政面での好影響を最大限に活用し、持続可能で健全な行財政運営に努める。

### 教育問題について

**Q** 令和4年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果が公表されたが、市の結果と今後の体力向上の取り組みについてはいかがか。

**A** 小学5年では各種目総合の体力合計点が全国平均を上回り、中学2年の男女で全国平均をやや下回るものの、体力合計点並びにすべての

種目で全道平均を上回る。

今後は休み時間の遊びや児童会生徒会の自主的な活動、家庭・地域と協力した規則正しい生活習慣づくりなどを、体を動かす楽しさを経験することで自ら運動に取り組む姿勢を育成する。

**Q** 教職員の長時間労働が改善されない状況。市の実態と改革の取り組みは。

**A** 時間外在校等時間は、教職員全体の平均が39時間42分であり、小学校が36時間20分、中学校が44時間38分である。また、月45時間以内の教職員は小中学校平均で65・9%にとどまるため、学校長を中心に勤務時間管理の徹底や、業務の役割分担の平準化など、市の「第2期働き方改革推進計画」に基づく取り組みを推進する。



### 農業の振興について

**Q** 今後の市の農業ビジョンについてはどうか。

**A** 市の農業・農地の在り方を示す「人・農地プラン」が令和5年度から法定化され農業基本構想に即した「地域計画」として位置づけられる。地域計画の策定にあたっては、地域農業者との協議を踏まえて進めていく。

**Q** 農業後継者を増やす対策は。道央農業振興公社において就農希望者への相談対応や研修を行っているほか、市では認定新規就農者への経営開始資金の助成や農地の利用調整など、後継者の確保と育成に取り組んでいく。



ギカイでこんなことが決まりました

# 第1回定例会 議案審議

第1回定例会 会期35日間

2月14日～3月20日

※全ての議案名と結果は、北広島市議会ホームページをご覧ください。



第1回定例会

## 第1回定例会

議案	24件
同意案	1件
発議	4件
陳情	1件
計	30件

この中から3つを **Pick up**

### Pick up 1

北広島市議会の個人情報の保護に関する条例が可決されました

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）の一部改正などに伴い、北広島市個人情報保護条例が廃止されることから、議会における個人情報の保護に関し必要な事項を定めるものです。

### Pick up 2

北広島市議会委員会条例の一部を改正する条例、北広島市議会会議規則の一部を改正する規則が可決されました

災害などの発生又は重大な感染症のまん延などにより、委員などが開会場所に参集が困難である場合に、オンラインによる方法で会議を開催できるよう改正を行うものです。

## 予算審査のスケジュール

月 日	内 容
3月3日(金) (個別質疑)	<b>一般会計歳入、歳出</b> 担当：企画財政部、会計室、総務部、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、議会事務局
3月6日(月) (個別質疑)	<b>一般会計歳出、霊園事業特別会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計</b> 担当：消防本部、市民環境部、保健福祉部
3月7日(火) (個別質疑)	<b>一般会計歳出</b> 担当：子育て支援部、経済部、農業委員会事務局、建設部
3月8日(水) (個別質疑)	<b>一般会計歳出、水道事業会計、下水道事業会計</b> 担当：教育委員会、水道部
3月16日(木)	<b>総括質疑、討論、採決</b>



市長から提出された令和5年度予算について予算審査特別委員会において審査を行い、各会計予算について可決すべきものとし、3月20日第1回定例会最終日において可決しました。

税金の使い道をチェックしました

Pick up **3**

令和5年度  
予算審査

## 主な質疑

### Fビレッジ HALFマラソン 連携事業

**Q.** 事業内容と予算120万円の内訳は。

**A.** 従来のきたひろしま30kmロードレースを、北海道ボールパークFビレッジの開業とともに、Fビレッジを発着とする新たなコースに改良し、ハーフマラソン、10km、5km、3kmの4種目、21部門に変更する。大会名を「Fビレッジハーフマラソン」とし、実行委員会と連携して開催する。予算の内訳は、安全対策として行う交通規制や、コース警備にかかる費用、及び完走賞などの購入費用の一部として使用する。



### 自転車駐車駐輪場 管理事業

**Q.** 球場へのシャトルバスに乗るため、駅まで自転車を使う人が増えることが見込まれる。現在の駐輪場の台数で足りるのか。

**A.** 駅周辺にある4か所の駐輪場は、1,092台の駐輪が可能であり、令和4年の晴天時に633台が駐輪している状況である。また、球場周辺には2か所、計333台分の駐輪場を整備している。



## 観光振興事業

**Q.事業を拡大することだが、具体的な内容は。**

**A.**観光協会において1名を配置し、エルフィンパーク市民サービスコーナーにて観光案内を行う。パンフレットや、タブレットなどを活用し、市内の観光施設や飲食店情報、交通アクセスや、近隣自治体の観光情報など、観光案内業務を中心に行う。



## 防災資機材整備事業

**Q.ワンタッチベッドを新たに備蓄する理由は。**

**A.**現在、備蓄しているダンボールベッドとは異なり、ワンタッチベッドは折りたたんだ状態の容積が小さく、また一人でも短時間で組立可能なものであり、発災初期における速やかな運用に適している。ダンボールベッドは内部に空気を貯蔵し、就寝時の体温低下防止の効果が見込まれるなどの長所もあり、避難所の中長期的な運用において、引き続き活用していく。



## 高等学校等 通学費助成事業

**Q.バスで通学する高校生の通学範囲について把握しているのか。**

**A.**教育委員会から、市内の中学3年生の進学先について情報を得ることで把握している。市内の高校へ進学しているのは30%に満たず、札幌市厚別区や清田区、大曲・西部地区からは恵庭市、千歳市などへバスを利用して通学している。



## きたひろ健康ポイント事業

**Q.球場内の温浴施設「tower eleven onsen & sauna」は、ふれあい温泉事業の対象に加えるのか。また、福祉バス利用の送迎ルートに加える予定はあるのか。**

**A.**ふれあい温泉事業については、4月1日から対象となる。冬の温泉施設への送迎バスの運行については、今後の当該施設の利用状況や交通手段などを加味して検討する。

特集

# 北広島市特定の場所における 路上喫煙の制限に関する条例が制定されました

「エスコンフィールドHOKKAIDO」の開業に伴い、JR北広島駅から球場までの周辺区域が多くの人で混雑されることが見込まれます。

路上などでの喫煙により、市民の健康や環境が損なわれることが無いよう、特定の場所での喫煙を規制するものです。



## 寄せられた意見の一部をご紹介します！

罰則を設けるべきでは？

罰則規定を設けると、監視員を置き、その場で違反行為を確認する必要が生じます。監視員の設置などへの予算が発生することから、当初は罰則を設けず、通行者のモラルを信じることにしました。

喫煙場所を設けるべきでは？

JR北広島駅からFビレッジ間の「エルフィンロード」は、喫煙所を設置できるスペースがありません。Fビレッジ内には喫煙所が設置されていますので、その喫煙所をご利用ください。



◀ 制定までに寄せられたご意見、回答は北広島市議会のホームページでも見ることができます。



◀ 制定後に募集したパブリックコメントは市のホームページで公開しています。

## 第2回 定例会のお知らせ

〈本会議〉

開 会 6月9日(金)  
一般質問 6月20日(火)～6月23日(金)  
閉 会 6月30日(金)

〈委員会〉

総務常任委員会 6月26日(月)  
民生常任委員会 6月27日(火)  
建設文教常任委員会 6月28日(水)

日程は都合により予告なく変更になる場合があります。  
傍聴を希望の方は、当日、市役所5階議会事務局窓口にお越しください。  
日程など詳しい情報は、北広島市議会のホームページをご覧ください。

